

営農管理システム「Z-GIS」のご紹介

毎年の白地図の手書き作業大変じゃないですか？

圃場の場所は変わらないのに、毎年時間をかけて白地図に作付け計画を記入するのは大変だ。

これから圃場の数が増えたらもっと大変だ。

紙の保管場所も確保しなくちゃならない。

そのお悩み、Z-GIS が解決します！！

Z-GIS上（クラウド）にデータを保存できるので、保管場所も必要なく過去のデータも簡単に確認することができます。

1回圃場を登録してしまえば、次年度以降はそのデータを活用できるので、毎年の作付け計画作成の時間が短縮できました。

Z-GISの3つの基本的特徴

1. 圃場の位置情報とエクセルを紐づけて管理するため、作付け計画や作業内容等の管理したい項目を自由に追加・記録することができます。
2. 作成したデータをクラウドに保存することで、個人のスマートフォンやタブレットを使って、複数名同時にほ場で見ることができます。
3. 利用料金は登録する圃場数に応じて変わり、100圃場毎に2,640円/年（税込み）でリーズナブルに利用できます。

<利用料金の例>

登録圃場	年額（税込み）
0～100	2,640円
101～200	5,280円
201～300	7,920円

そしてもう1つ

栽培管理支援システム「ザルビオ」のご紹介



ザルビオは作物や品種、気象情報、人工衛星からの画像等、様々な情報をAIによって解析することで、最適な栽培管理を提案する新しい栽培支援システムです。

ザルビオの画面イメージと表示項目

病虫害防除・施肥・水管理など、推奨事項がある場合は紫色で表示されます。

「病害」「施肥」「水管理」の今日から4日後までのリスクと推奨内容を確認できます。「詳細」をクリックすると今後の生育ステージ予測や病害ごとの感染リスクを確認することができます。

現在の生育ステージの説明および次の生育ステージに到達するタイミング（月日）の確認ができます。

今日を含む4日間の天気予報が確認できます。風速、湿度、気温、降水量の予測から1時間ごとの肥料・農薬の適期を表示します。

人工衛星により

バイオマスマップ（LAI）、パワーゾーンマップ（地力マップ）、平均植生（NDVI）などが表示されます。ページ上段の「分析」をクリックすると、土壌の種類や土性も確認することができます。

※各項目の詳細は以下のとおりです。

- ・LAI：葉の繁り具合を数字で表示し、数字が大きい方が葉が茂っていることを表す。
- ・地力マップ：過去の衛星画像により推定される地力の大きさを表す。
- ・NDVI：植物の活性度を表す数字。数字が大きい方が植物の活性が高いが、高すぎると過繁茂となり、倒伏などのリスクにつながる。

（担い手・営農支援部 担い手・営農支援課）

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。